年　組　氏名

理科 ツール連動型 問題集

AIツールを活用して、以下のテーマについて調べ、メモ欄に自分なりにまとめましょう。単なる丸暗記ではなく、理由や仕組みを理解することが大切です。

【問題1：「たとえ話」で法則・スケール感を理解】

「オームの法則」や「地球の歴史46億年」など、目に見えない法則やスケールが大きすぎる数字は丸暗記になりがちです。「なぜそうなるのか」を直感的に理解するために、あなたの日常生活にある身近なもの（工場やカレンダーなど）に例えて説明してもらいましょう。

> **ヒント** ツールの「どのワークをやる？」で『「たとえ話」で法則・スケール感を理解』を選択。調べたいテーマ欄に「オームの法則」と入力し、「水の流れに例えて」など条件を足すのもおすすめだよ。
>
> **メモ** **AIが「何に例えてくれたか」と、その例えのポイント（例：電圧＝ポンプの力）を対比させてメモしよう。**

【問題2：「表やマップ」で用語・実験結果を整理】

葉緑体、クロロフィル、二酸化炭素、酸素、デンプン…生物の授業でたくさんの用語が出てきて頭がごちゃごちゃになっていませんか？これらの関係性を比較できるわかりやすい「表」と、どのようにつながっているかがわかる「ストーリー」をAIに作ってもらいましょう。

> **ヒント** 『「表やマップ」で用語・実験結果を整理』を選んでね。キーワード欄には、整理したい単語を改行やカンマで区切って全部入力してプロンプトを作ろう。
>
> **メモ** **AIが整理してくれた用語の関係性を参考にして、自分なりに矢印（→）を使って用語同士のつながりを簡潔なマップとして書き出してみよう。**

【問題3：実験手順の「安全性・確実性」をチェック】

授業で「白い謎の粉の正体を調べる」というオリジナル実験を計画しました。でも、いきなり実験を始めるのは危険かもしれません。自分が考えた手順（水に溶かす、火で熱するなど）をAIの専門家にチェックしてもらい、危険な操作がないか安全確認をしましょう。

> **ヒント** 『実験手順の「安全性・確実性」をチェック』を選択しよう。入力欄に自分が考えた手順を書いてAIに送ると、先生に見せる前の「安全フィルター」として機能してくれるよ。
>
> **メモ** **AIが「ここは危ない！」と指摘してくれたポイントと、「こうすれば安全」という代替案を必ずメモして、実際の実験に備えよう。**